

1992年12月8日に富士山で観測された振動*

防災科学技術研究所

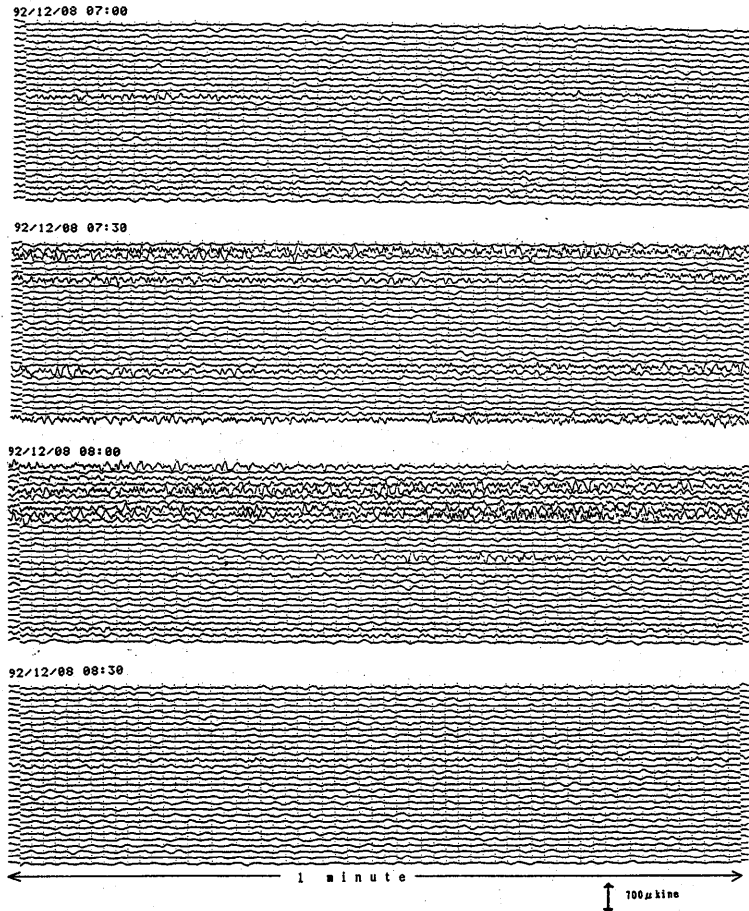
防災科学研究所の富士鳴沢火山活動観測施設（第1図）では、1992年12月8日07時から09時にかけて、1～数分間継続する振動を数回観測した。第2図に短周期地震計の記象を示す。この振動は、富士山北斜面で発生した降雨による雪崩によって励起されたものと考えられる。12月7日から8日にかけての傾斜変動と降雨量の記録を第3図に示す。振動が観測される前10時間に約100mmの降雨量があった。傾斜には目立った変化は見られない。（鶴川元雄）



第1図 富士鳴沢火山活動観測施設（FJN）の位置

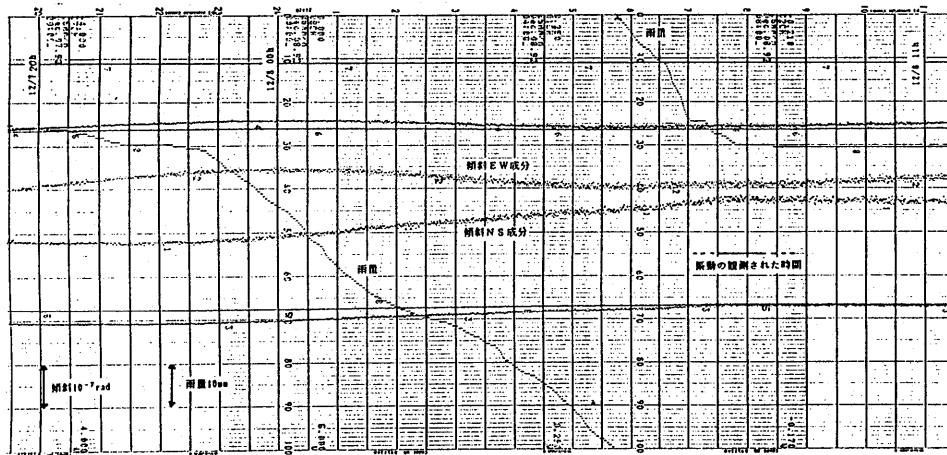
Fig. 1 Map showing the location of observation site
(FJN : Fuji-Narusawa).

* Received 19 Apr., 1993



第2図 1992年12月8日07~09時にFJNで観測された上下動短周期地震計(固有周期1秒)の記象

Fig. 2 Seismogram observed by short-period vertical component seismometer (natural frequency :1 Hz) at FJN.



第3図 FJNでの12月7日20時から12月8日11時の傾斜と雨量の記録

Fig. 3 Tilt changes and precipitation at FJN from 20 h on Dec. 7 to 11 h on Dec. 8